

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【公開番号】特開2018-102997(P2018-102997A)
 【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)
 【年通号数】公開・登録公報2018-025
 【出願番号】特願2018-71976(P2018-71976)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月20日(2018.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体貯留装置と、

前記遊技媒体貯留装置から溢れた遊技媒体を収納可能な遊技媒体収納庫と、

前記遊技媒体収納庫における遊技媒体が所定の収納状態になっていることを検出する遊技媒体収納状態検出手段と、

投入された遊技媒体が通る通路部の所定位置において遊技媒体を検出可能な第 1 検出手段と、

投入された遊技媒体が通る通路部の前記所定位置より下流位置において遊技媒体を検出可能な第 2 検出手段と、を備え、

前記遊技媒体収納状態検出手段の検出結果と、前記第 1 検出手段の検出結果と、前記第 2 検出手段の検出結果と、に基づいて、前記所定の収納状態に関する所定のエラー処理が実行可能となるよう構成されており、

前記第 1 検出手段が遊技媒体を検出したときから所定期間経過後に、前記所定のエラー処理が実行可能となるよう構成されている、ことを特徴とするスロットマシン。

【請求項 2】

前記所定期間は、前記第 1 検出手段が遊技媒体を検出してから前記第 2 検出手段が当該遊技媒体を検出し得るまでの設計値よりも長い期間である、ことを特徴とする請求項 1 に記載のスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明に係るスロットマシンは、遊技媒体貯留装置（例えば、ホッパー 5 0）と、前記遊技媒体貯留装置から溢れた遊技媒体を収納可能な遊技媒体収納庫（例えば、補助収納庫 8 5）と、前記遊技媒体収納庫における遊技媒体が所定の収納状態（例えば、満杯状態）になっていることを検出する遊技媒体収納状態検出手段（例えば、満杯検出部 8 6 及び収

納状態信号回路 87) と、投入された遊技媒体が通る通路部の所定位置において遊技媒体を検出可能な第 1 検出手段 (例えば、投入メダルセンサ 28c) と、投入された遊技媒体が通る通路部の前記所定位置より下流位置において遊技媒体を検出可能な第 2 検出手段 (例えば、投入メダルセンサ 28b) と、を備え、前記遊技媒体収納状態検出手段の検出結果と、前記第 1 検出手段の検出結果と、前記第 2 検出手段の検出結果と、に基づいて、前記所定の収納状態に関する所定のエラー処理 (例えば、満杯エラー処理) が実行可能となるよう構成されており、前記第 1 検出手段が遊技媒体を検出したときから所定期間経過後に、前記所定のエラー処理が実行可能となるよう構成されている、ことを特徴とする。

また、本発明に係るスロットマシンは、複数種類の図柄を可変表示する複数のリール (例えば、リール 3a, 3b, 3c) と、リールを用いた遊技を行うための遊技媒体を収納する遊技媒体収納庫 (例えば、補助収納庫 85) と、遊技媒体収納庫における遊技媒体の収納状態を検出する遊技媒体収納状態検出手段 (例えば、満杯検出部 86 及び収納状態信号回路 87) と、遊技媒体収納状態検出手段による検出結果に基づき、遊技媒体収納庫が特定の収納状態 (例えば、満杯状態) にあるか否かを判定する遊技媒体収納状態判定手段 (例えば、満杯状態判定手段 114) と、遊技媒体収納状態判定手段による判定結果に応じて、所定のエラー処理 (例えば、満杯エラー処理) を実行するエラー処理実行手段と、を備えたスロットマシンであって、エラー処理実行手段は、スロットマシンが遊技媒体を有効に受け入れることが可能な状態にあるときの所定期間内の複数時点において、遊技媒体収納状態判定手段による判定結果を確認し、一の確認時において、遊技媒体収納庫は特定の収納状態にあると判定されていることを必要条件としてエラー処理を実行し、当該エラー処理を実行中の期間における他の確認時において、遊技媒体収納庫は特定の収納状態にないと判定されている場合にはエラー処理の少なくとも一部を終了するように構成されている、ことを特徴とする 態様であってもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、発明に係るスロットマシンは、前記所定期間は、前記第 1 検出手段が遊技媒体を検出してから前記第 2 検出手段が当該遊技媒体を検出し得るまでの設計値よりも長い期間である、ことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 8
【補正方法】削除
【補正の内容】